

## 8.11 エコマテリアル

### 8.11.1 調査事項

調査事項は、表 8.11-1 に示すとおりである。

表 8.11-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度
予測条件の状況	・環境物品調達方針
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平成27年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」等に基づき、環境物品等の調達を行う。</li> <li>・「東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針」（平成27年3月 東京都）も踏まえ、再生骨材コンクリート等のエコマテリアルを積極的に使用する。</li> <li>・建設資材についてエコマテリアルの適用品目があるものについては、積極的に適用品目を利用する計画である。</li> <li>・資材の搬入、副産物の搬出にあたっては、あらかじめ再生資源利用計画書および再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存を行う。</li> <li>・エコマテリアルの使用状況確認については、フォローアップ調査で確認する。</li> </ul>

### 8.11.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

### 8.11.3 調査手法

調査手法は、表 8.11-2 に示すとおりである。

表 8.11-2 調査手法

	調査事項	エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度
	調査時点	工事の施行中とした。
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とした。
	予測条件の状況	工事中の適宜とした。
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	計画地とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とした。
	予測条件の状況	関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	関連資料の整理による方法とした。

## 8.11.4 調査結果

## (1) 調査結果の内容

## 1) 予測した事項及び予測条件の状況

## ア. エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度

本事業における、エコマテリアルの利用状況は表 8.11-3 に示すとおりである。建設工事に当たっては、「平成 27 年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」等に基づき、建設資材等の環境物品の調達を行った。

表 8.11-3 エコマテリアルの利用状況（特別品目）

品目分類	品目名	単位	数量
建設発生土の有効利用を図るもの	建設発生土	m <sup>3</sup>	5,062
	普通土（再利用センターストック土、青梅事業所ストック土）	m <sup>3</sup>	12,043
	流動化処理土	m <sup>3</sup>	1,184
熱帯雨林材等の使用を抑制するもの	環境配慮型型枠（金属型枠）	m <sup>2</sup>	2,245
コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊等の有効利用を図るもの	再生クラッシュラン	m <sup>3</sup>	4,008
	再生粒度調整砕石	m <sup>3</sup>	5,551
	再生加熱アスファルト混合物	t	3,420
	再生骨材Hを用いたレディーミクストコンクリート	m <sup>3</sup>	48,776
都内の森林再生のため多摩産材の有効利用を図るもの	多摩産材を用いた建築材料	m <sup>3</sup>	50
温室効果ガスの削減を図るもの	LEDを光源とする照明器具	台	1,959
	ノンフロン断熱材	工事数	1
ヒートアイランド対策を図るもの	高反射率塗料	リットル	1,376
その他環境負荷の低減に寄与するもの	LEDを光源とする非常用照明器具	台	181
	環境配慮形（EM）電線・ケーブル	m	47,811
	RoHS指令対応電線・ケーブル	m	107
	低VOC塗料	リットル	3,060
	電炉鋼材などのリサイクル鋼材（棒鋼）	t	1,260
	電炉鋼材などのリサイクル鋼材（形鋼）	t	880
	電炉鋼材などのリサイクル鋼材（鋼板）	t	60

## 2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.11-4 に示すとおりである。

表 8.11-4 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・「平成27年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」等に基づき、環境物品等の調達を行う。	「平成27年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」等に掲げられている建設資材を可能な限り調達した。
・「東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針」（平成27年3月 東京都）も踏まえ、再生骨材コンクリート等のエコマテリアルを積極的に使用する。	建築物の北護岸改修工事には、再生骨材コンクリート等を調達した。（写真 8.11-1）
・建設資材についてエコマテリアルの適用品目があるものについては、積極的に適用品目を利用する計画である。	「平成27年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」に掲げられている建設資材以外にもエコマテリアルを可能な限り調達した。
・資材の搬入、副産物の搬出にあたっては、あらかじめ再生資源利用計画書および再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存を行う。	工事の実施に当たっては、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存した。
・エコマテリアルの使用状況確認については、フォローアップ調査で確認する。	エコマテリアルの使用状況をフォローアップで確認した。



写真 8.11-1 再生骨材コンクリート

## (2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

## 1) 予測した事項

## ア. エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度

建設工事にあたっては、「平成 27 年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」や「東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針」等に基づき、建設資材等の環境物品等（再生骨材コンクリート等）の調達や環境影響物品等の使用抑制を図ることにより、エコマテリアルの利用が図られた。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。